

平成 27 年 7 月 17 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

株式会社大和証券グループ本社の
「S M B C なでしこ私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取：國部 毅）は、株式会社大和証券グループ本社（代表執行役社長：日比野 隆司）の発行する「S M B C なでしこ私募債」を買受け致しました。

「S M B C なでしこ私募債」は、私募債買受け時にお客さまの女性活躍推進の取組状況を独自の基準で“見える化”（ ）し、現状の取組状況の分析や今後の課題、その課題への取組事例などをご提供させて頂く私募債です。

今回対象となりました、株式会社大和証券グループ本社に対する診断結果は、女性の活躍が進んでいる「女性活躍の先進企業」となりました。

特に、株式会社大和証券グループ本社では、以下のような取組みを展開しております。

配偶者の育児やスムーズな復職をサポートできるよう、配偶者の出産時や復職時に 1 週間程度（最大 2 週間）の休暇を取得できる「育児サポート休暇」を導入。育児休職の最初の 2 週間以内を「育児サポート休暇」とし、申請方法の簡素化や、制度利用者の紹介等の取得の奨励を行った結果、男性による育児休職取得者が 19 名（2013 年度）から 134 名（2014 年度）へと大幅に増加。

主に事務業務を担う業務職から、幅広い様々な業務を担う総合職・エリア総合職への職制転向、及び非正規雇用から正社員への登用を積極的に促進。ロールモデルが増えたことで、職制転向してキャリアアップを目指す女性社員が大きく増加し、累計で 1,000 名を超える転向・登用を実現。

女性管理職比率は 2015 年 6 月時点で 8.6%まで上昇（2014 年 3 月時点では 6.3%）。さらに、支店長に占める女性比率は 16.1%と、管理職の中でもより高い職位への女性登用も進展。（いずれも大和証券株式会社の数値）

三井住友銀行では、「S M B C なでしこ私募債」により、お客さまの女性活躍推進に向けた取組みを、金融を通じて応援してまいります。

()“見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、平成 24 年度より経済産業省と東京証券取引所が共同で実施している「なでしこ銘柄」の選定業務を受託する等、豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所(代表取締役社長: 淵崎 正弘)に業務を委託しております。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。